

滝小だより



2026年(令和8年)

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』

○ことば：「よく考える子」

○こころ：「思いやりのある子」

○こうどう：「ねばり強い子」



学校運営協議会がスタート -地域とともに、子どもの安全を守る-

今年度も学校運営協議会がスタートしました。第1回目の協議会では、先日の急な雷の際、3～6年生の児童を学校に留め置いた対応(1・2年生は下校済み)が話題にあがりました。委員の方々からは「留め置き判断自体は安心できる」と評価をいただいた一方で、「保護者もお迎えに行くのが怖かった」「車で行っても駐車スペースがなく混乱するため、どう動くべきか迷った」という切実なご意見をいただきました。学校としては児童の安全を第一に考えた対応でしたが、結果としてご家庭にご心配やご迷惑をおかけしてしまった面もあったと受け止めております。また、委員の方からは「先生方も外に出るのは怖いはず。先生に外での交通整理まで求めるのは違うのではないか」という、教職員の安全をも思いやる温かいお言葉もいただきました。幸いにも当日は大きな混乱はなく、全児童が無事に下校することができました。保護者の皆様の臨機応変なご対応とご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。今後は、今回の経験を踏まえ、学校運営協議会の皆様とともに、より安全でスムーズな「雷発生時の対応」について検討を重ねてまいります。

お知らせ



◆通知票の評価に関するご説明

昨年度、「学校だより 9月号」にて、通知票の評価について本校の考え方をお伝えしましたが、今年度は個人面談に先立ち、改めてご説明させていただきます。なお、本文中に出てくる「A」「B」「C」は(A:よくできた B:できた C:もう少し)という意味です。

まず、本校では、「B」は「できている」「十分できている」と捉えていて決して悪い評価ではありません。むしろ、自信を持っていただきたいと思っています。「A」は特別な評価です。もし「C」がついていた場合には、「2学期こそは絶対にBにしよう」という前向きな気持ちで取り組んでほしいと願っています。「C」を「B」に上げることに大きな意味があり、子どもたちの将来にもよい影響をもたらすと私たちは考えています。「C」は叱責ではなく、次へのステップとして、努力の方向を示すものです。今後の励みにしていただけたら幸いです。

さて、現在の学習指導要領では、児童の学習状況を以下の3つの観点で評価することになっています。

知識・技能 「何を理解したのか、何ができるようになったのか」

思考・判断・表現 「理解したこと・できるようになったことをどのように使い、表現するか」

主体的に学習に取り組む態度 「目標(*1)に向かって粘り強く取り組み、自らの学習を調整(*2)しようとしているか」

(*1) ここでの目標には、1.知識・技能の獲得や、2.思考力・判断力・表現力の向上も含まれます。

(*2) 試行錯誤を通じて自分なりに工夫し、将来的に社会や人生において主体的に他者に働きかける力や人間性を育てるという意味も含まれます。

これらの観点は、保護者の皆さまには少し分かりづらく、「理科でAが1つあるから大丈夫かな」「国語はCが2つだからよくないのかな」と、ABCの数だけで評価を捉えてしまうかもしれません。しかし実際には単に数ではなく、上記に示した各観点の意味に基づいて評価が行われています。最後に、評価の仕方と評価基準について簡単にご説明します。

- ① **知識・技能** 昔の成績評価に近いと捉えていただいて構いません。主に、単元テストの結果や文章の内容、観察・実験、実技などから評価します。単元テストの得点目安は、A：95%以上 B：65%以上（低学年は70%以上）としていますが、テストの点数だけで判断しているわけではありません。
- ② **思考・判断・表現** 単元テストも含みますが、主にレポートや新聞の作成内容、発表、話し合いの様子などを通じて評価します。「①で身につけた知識・技能を活用しているかどうか」ということも評価の対象になります。
- ③ **主体的に学習に取り組む態度** 2つの側面から評価します。「粘り強さ：目標をあきらめず、継続的に努力する姿勢・能力」「調整力：新しい情報や友達の意見などに応じて、自分の考えを柔軟に変える力」評価は主にノートやプリントの記述、授業中の発言・行動、児童による自己評価・相互評価などを通じて行います。

これら3つの観点は相互に関連しています。たとえば①がCであると、②や③もCがつきやすくなり、①がBであれば②や③にAがつきにくなる傾向があります。もっとも、これはあくまで一般論であり、現在も「このような評価の在り方でよいのか」という議論は続いています。

◆図書ボランティアの募集について

本校では、図書ボランティアの方々が年間を通して定期的に学校図書館（図書準備室）で本の修理や季節の飾り制作など、子どもたちのために活動してくださっています。今年度からは、従来の活動に加えて「教科書関連図書の読み聞かせ」や、授業内容に関連したテーマの本を紹介する「ブックトーク」なども新たにスタートする運びとなりました。つきましては、以下の通り説明会を開催いたします。少しでも興味のある方は、ぜひお気軽にお越しください。

【図書ボランティア説明会】 日時：6月17日（水） 9:30～ 学校図書館

※ 別途配付の「滝の沢小学校・図書ボランティアのご案内」もあわせてご覧ください。

7月の主な行事（変更することもあります）

1日（水）・2日（木）4時間授業 8日（水）～10日（金）・14日（火）・15日（水）個人面談（4時間授業）
8日（水）学校運営協議会 10日（金）5年ライフセービング教室 15日（水）給食終了
16日（木）3時間授業 17日（金）終業式（3時間授業） 21日（火）～夏季休業

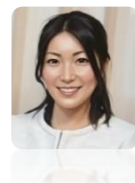


児童支援担当教諭より

ー委員会活動で私は運営委員会を担当していますー

今年度、運営委員会では「安心できる学校づくり」を年間テーマに掲げ、活動をスタートしました。子どもたちが話し合って導き出した答えは、「安心できる学校＝学年を問わずみんなが仲良くできること」でした。

その第一弾として、毎年恒例の「あいさつ運動」をバージョンアップさせました。あいさつの後にじゃんけんを取り入れ、自然と笑顔や会話が生まれる工夫です。先日行われた代表委員会では、賛成多数で可決されただけでなく、各クラスから「もっと楽しむためのアイデア」も出されました。今年度は「安心できる学校」を目指して、どんなことができるか子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。



今年度、新たに教育長から委嘱または任命された学校運営協議会委員（任期は原則2年としています）

斎藤晃子（茅ヶ崎市自治会代表）… 昨年度の自治会代表者が藤沢市民のみでしたので、新たにお願いしました。

飯尾美咲（地域学生）… 昨年度の地域学生委員が就職により市外へ転居したため

齋藤智慶（滝の沢小学校教頭）… 教頭の人事異動があったため